



# 金融財政

2006年(平成18年) 3月6日 (月) 第9729号 (購読料金 月額税込み5,565円)

## 品格ある国家論

お茶の水女子大学教授 篠塚英子



藤原正彦氏の「国家の品格」(新潮新書)が売れている。藤原氏は筆者の勤務する大学の同僚で、

専門の数学者としてよりも文筆の方が著名である。

大学生協書籍部では、この定価680円の本が積まれる先からすぐ底を突く。女子学生がこの手の本を十分に理解して読んでいるのかはさておき、大学で広報担当の役職評議員をしている私にとって、大学宣伝への貢献は大きく喜ばしい。

これほど日本国中で読まれている本だから、当然、同僚教員も読んでいるであろうと早とちりする方もいる。これは浅はかというもの。大学の大半は同僚の出版物の異常な売れ行きを喜ばない。なんでアイツの本だけ生協の本棚を占拠して、ボクのワタシの本を置いてくれないの——というのが本音である。

生協の本棚スペースはとても狭い。だから、売れない本は絶対に置かない。資本主義のルールが貫徹している。早とちりの人が、筆者も当然読んでいと端から疑わず、合評会付き飲み会

藤原正彦氏の「国家の品格」(新潮新書)が売れている。藤原氏は筆者の勤務する大学の同僚で、専門の数学者としてよりも文筆の方が著名である。

大学生協書籍部では、この定価680円の本が積まれる先からすぐ底を突く。女子学生がこの手の本を十分に理解して読んでいるのかはさておき、大学で広報担当の役職評議員をしている私にとって、大学宣伝への貢献は大きく喜ばしい。

これほど日本国中で読まれている本だから、当然、同僚教員も読んでいるであろうと早とちりする方もいる。これは浅はかというもの。大学の大半は同僚の出版物の異常な売れ行きを喜ばない。なんでアイツの本だけ生協の本棚を占拠して、ボクのワタシの本を置いてくれないの——というのが本音である。

生協の本棚スペースはとても狭い。だから、売れない本は絶対に置かない。資本主義のルールが貫徹している。早とちりの人が、筆者も当然読んでいと端から疑わず、合評会付き飲み会

生協の本棚スペースはとても狭い。だから、売れない本は絶対に置かない。資本主義のルールが貫徹している。早とちりの人が、筆者も当然読んでいと端から疑わず、合評会付き飲み会

### CONTENTS

- 解説 息の長い景気拡張続く、明るいシグナル続出(宅森昭吉) 一身近な社会現象から見た「景気好転」…… 2
- BANCO 成長率・金利論争(富田俊基) …… 3
- 照一隅 オイルマネーの“効用”(溪粒子) …… 5
- マーケットレーダー エネルギー政策の拮抗(石室 喬) …… 7
- News Eye 「誤発注」基金に209億円抛出へ …… 8
- インタビュー 変わる「信託の時代」(3) 一池田輝彦・みずほ信託銀行社長 …… 10
- インサイド 長信銀の静かな幕引き …… 11
- 海外誌紙に見る日本の評判 …… 13
- 国際経済 中国の最新「エネルギー戦略」を分析 …… 14
- コラム・コラム (藤原作弥) …… 15
- 世界の金融—西・東(ニューヨーク) …… 18
- 財政金融ウォッチング <1月後半> …… 19
- 北風・南風 (愛知) …… 20